

国際交流通じ世界に平和と友好のメッセージを

高麗郡建郡1300年記念事業



高麗日韓友好祭



渡来人の里「高麗」 高麗神社・境内

日時 2016年5月22日(日) 15:00～17:30

場所 高麗神社・境内 埼玉県日高市新堀833 042-989-1403
「JR高麗川駅(こまがわえき)」(JR川越線・JR八高線)から徒歩20分

主催 一般社団法人コリアンワールド

協力 高麗神社 一般社団法人高麗1300

後援 日高市 駐日韓国文化院 公益社団法人アジア協会アジア友の会

協賛 あすか信用組合 TTK総合レジャー産業 SBJ銀行 金田事務所 ブルーヒルズ

賛同人 朴 一 大阪市立大学教授 金 両 基 比較文化学者
森川裕一 奈良県明日香村村長 尹 大 辰 愛知淑徳大学講師

無料 ※どなたでも自由にご覧いただけます

メッセージ



高麗文康
高麗神社宮司

記念講演 テーマ「東アジアの平和」



仲尾 宏
朝鮮通信使縁地連ユネスコ登録推進部会学術委員長

芸能公演

高麗神社で日韓の伝統文化交流



高麗茶道苑
高麗茶道



王 清 一
パンソリ



始興市正往2洞風物団
オウルリム(韓国京畿道)



體泉通明農謡
(韓国慶尚北道)



嶋三喜夫
歌手



パク・ウォン
韓国打楽器奏者



加藤敬徳
琵琶演奏

開催趣旨

高句麗から高麗王若光が渡来し、8世紀の飛鳥時代に朝廷から命を受けて、現在の埼玉県に高麗郡を建郡してから今年で1300年を迎えます。高麗王若光を奉る高麗神社や日高市が中心となって、高麗郡建郡1300年祭記念事業委員会を組織し、現在、様々な記念事業を展開しています。

高麗郡建郡1300年記念事業は「渡来から未来へ」を大きなテーマとし、渡来人への思いを馳せながら、全世界に平和、友好、交流のメッセージを発することが目的。5月21日（土）には埼玉県日高市が主催し、記念式典と当時、若光が引き入れてきた渡来人1799人の再現パレードが5月22日に行われます。弊紙は、日本と朝鮮半島の友好促進を祈願しながら、高句麗を起点とした1300年の歴史を、歌や舞踊で祝う文化催事「高麗日韓友好祭」を翌5月22日（日）午後、高麗神社境内で開催します。高麗王若光を祀る高麗神社の高麗文康宮司は、高麗王若光の直系子孫である高麗家60代目当主として、「渡来してきたことを大切に」と高麗家の系譜と伝統を守り続けています。1300年前に韓半島から日本に渡来した高句麗人らが地域発展に寄与したことや、高麗郡の歴史を守り続けてきた日高市を中心とした当該地域の役割を再認識していきたいと考えています。

日本には現在、200万人を超える外国人が居住し、異文化の人々との共生は切実になっています。多くの外国人が「日本人は親切で清潔」と好感を示しています。例えば、こうした日本の美点とコリアの特性である情熱を組み合わせることによって、素晴らしいアジア文化が構成できるものと思われれます。日本に住む在日コリアンは日本と祖国の間に立って、日本とコリアの架け橋としての役割が期待されます。また、今年3月30日には日韓の民間団体が共同で朝鮮通信使のユネスコ世界記憶遺産登録に申請手続きが完了しました。歴史的な平和外交・善隣友好の好例として知られる朝鮮通信使の精神を現在によみがえらせ、朝鮮半島および近隣諸国との恒久的な平和構築を願いたいものです。

高麗郡建郡1300年祭記念事業「高麗日韓友好祭」開催を通して、渡来の里、高麗郡1300年の歴史を振りかえながら、日本とコリアの更なる平和友好を望んでいく所存です。